



**第1期**  
**OUG中期経営計画**  
(2007. 4~2010. 3)

— グループ経営基盤の構築と新たなる事業展開に向けて —

2007年4月

**OUGホールディングス株式会社**

1. 経営理念・経営ビジョン
2. 将来像
3. 経営環境と課題
4. 中期経営計画の位置づけ
5. 経営目標
6. 基本戦略
7. 事業戦略
8. グループ経営基盤の構築
9. グループ再編方針

# 1. 経営理念・経営ビジョン

OUGグループは、グループとしての経営理念・経営ビジョンおよびシンボルマークを制定し、新しいスタートを切りました。

## OUG経営理念

水産物をコアとし、お客様に価値ある商品とサービスを提供することにより、食文化の発展に貢献します。

## OUG経営ビジョン

### 将来像

新しい水産物流通サービス業を創造することによって企業価値を最大化します。

### 業界での位置づけ

お客様に安全・安心と満足を提供し、業界No. 1グループを目指します。

### 組織のあり方

社員の成長を支え、成果に報いる仕組みを作り、OUG全体の相乗効果を追求する組織を目指します。

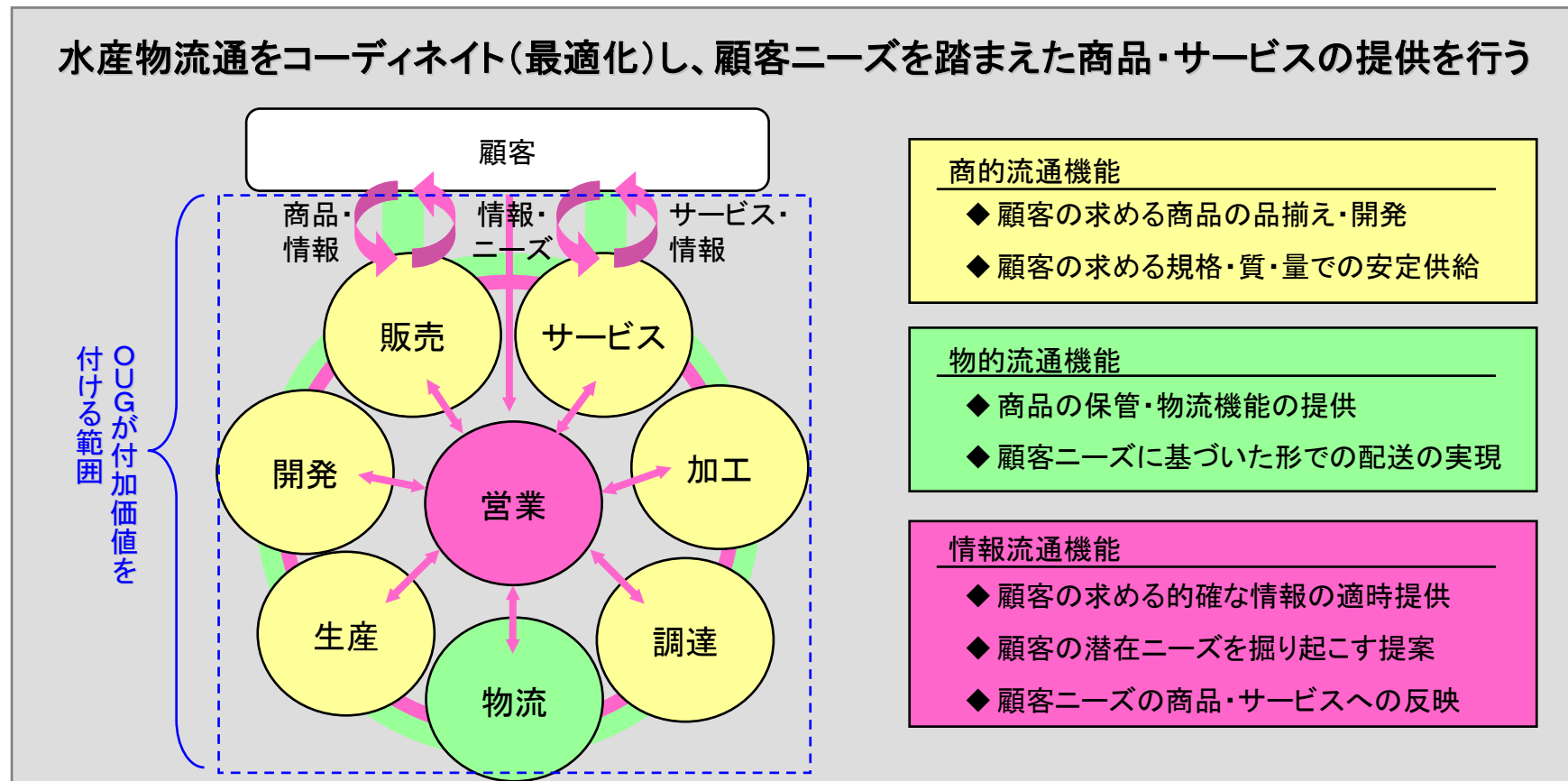
### 社員のあり方

各人が自律的に考働し、常に新しい価値を提案します。

## 2. 将来像

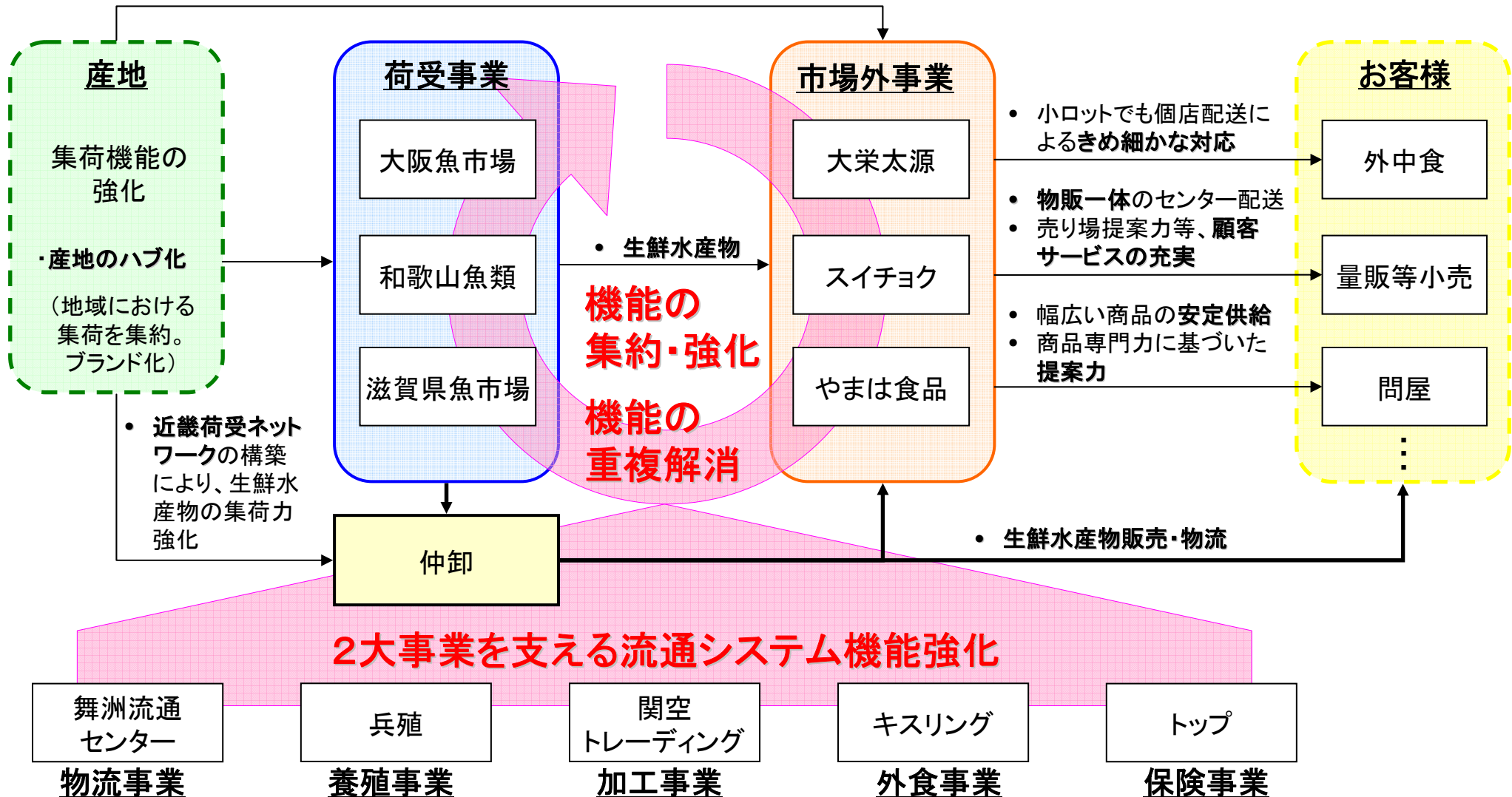
OUGグループが目指す将来像である「水産物流通サービス業」のイメージは次のとおりです。

水産物をコアとして、品揃えや販促などの「**商的流通機能**」、保管や物流などの「**物的流通機能**」、「**情報流通機能**」を総合的に遂行し顧客のニーズを満たして利益を得る事業



## 2. 将来像

一貫した流通システムを構築し、「水産物流通サービス業」を実現いたします。



### 3. 経営環境と課題

水産物流通業界の置かれている環境と当社グループの課題は次のとおりです。

#### 環境変化

消費構造

消費者ニーズの多様化

安全・安心への要求の高まり

経済構造

M&A・合従連衡の拡大

水産物資源の減少

流通構造

流通の巨大化・上位集中化

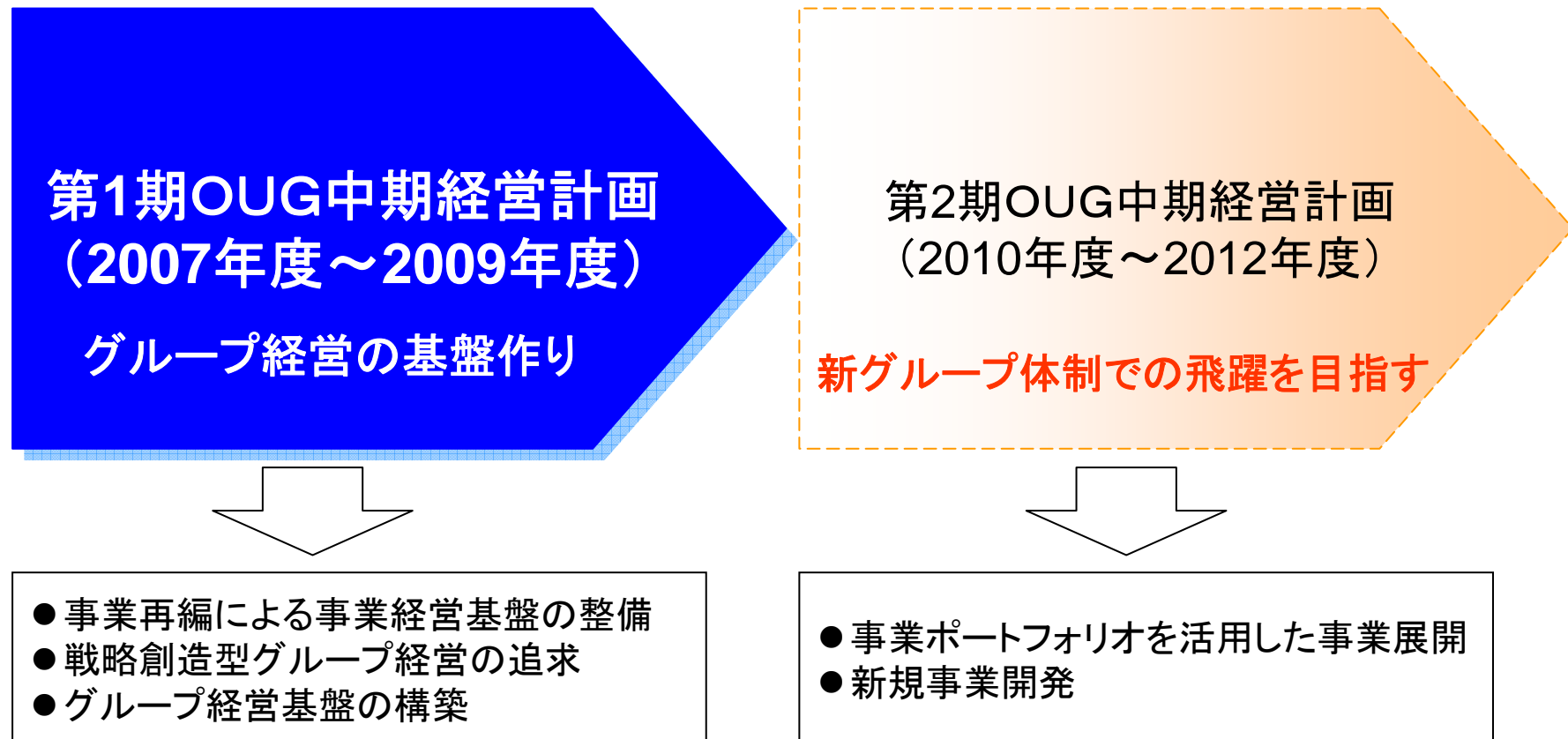
多段階流通の簡素化

#### 課題

生産者から消費者までの水産物のトータルシステムである  
新しい「水産物流通サービス業」を創造し、お客様に安全・安心と満足を提供すること

## 4. 中期経営計画の位置づけ

第1期OUG中期経営計画は、グループ経営の基盤作りを目指します。

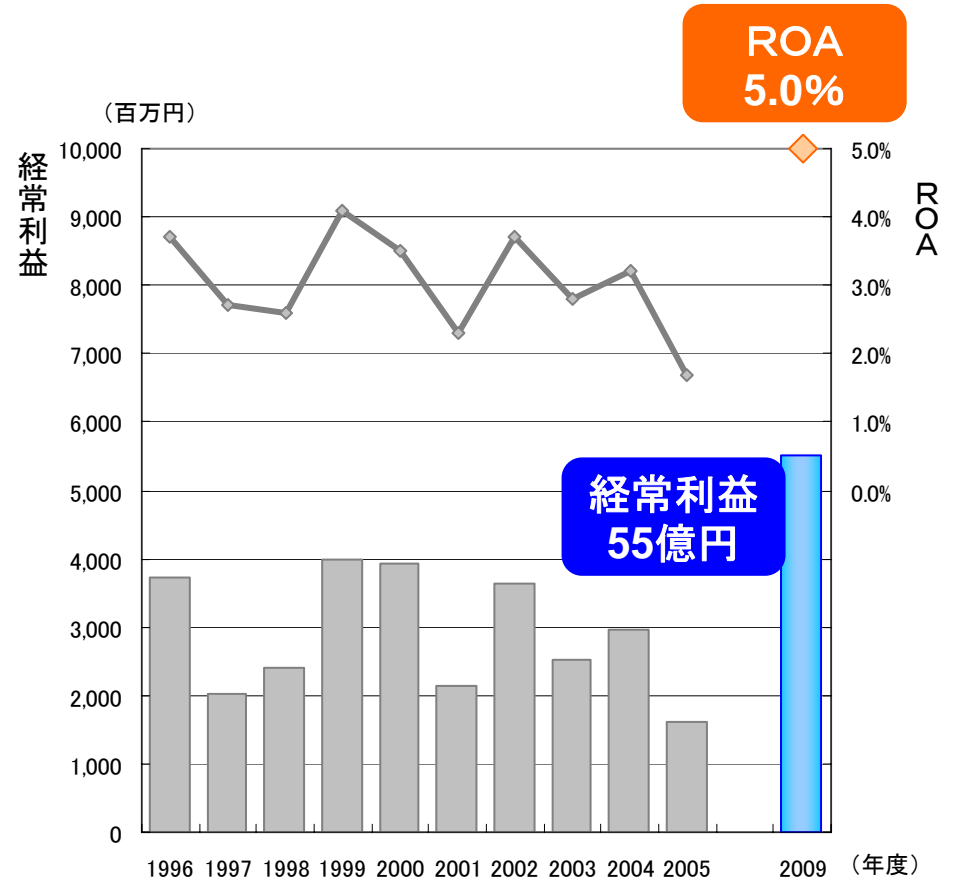
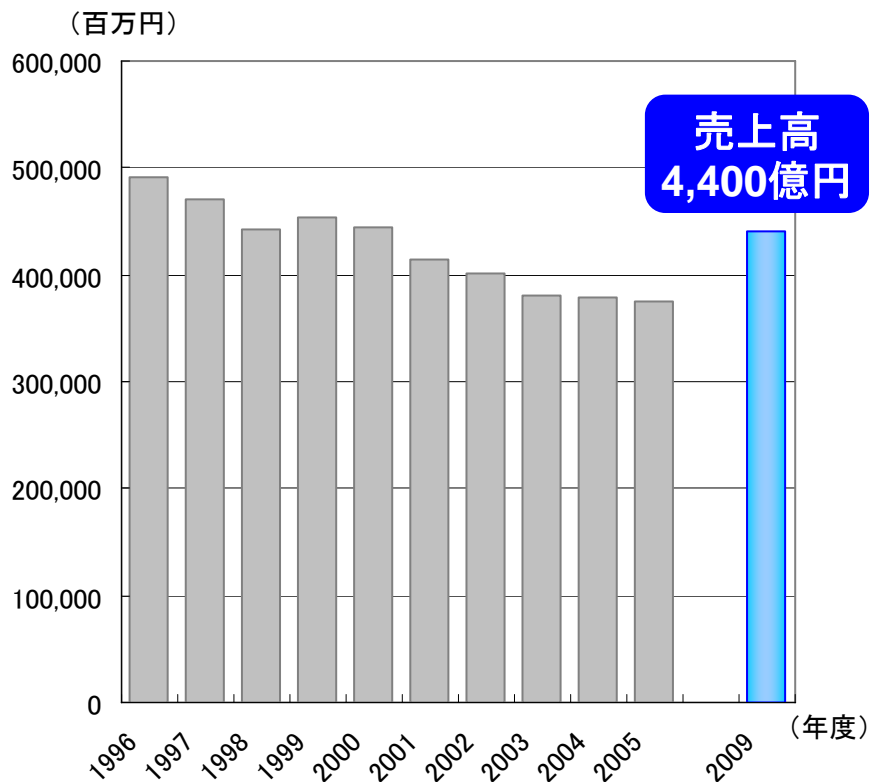


# 5. 経営目標(3年後)

2009年度に売上高4,400億円、経常利益55億円、ROA 5%以上を目指します。

## 売上高

## 経常利益とROA





## 5. 経営目標(3年後)

2009年度の経営目標は次のとおりです。

		2005年度 実績値	2009年度 計画値
売上高	(百万円)	375,022	440,000
経常利益	(百万円)	1,619	5,500
経常利益率	(%)	0.43	1.25
ROA	(%)	1.7	5.0

4つの基本戦略と各事業の連携によって企業価値を高めていきます。

### (1) 近畿荷受ネットワークの構築

OUGグループが営む近畿3荷受5市場の保有する事業ノウハウや経営資源を共有し、近畿圏における荷受事業のネットワークを構築することによって当該事業の競争力強化を図る

### (2) 地域を基軸とした市場外事業の再編・強化

成長エンジンとなりうる市場外事業の競争力強化を目的として、地域を基軸とした顧客起点経営への転換を図る

### (3) 戦略創造型グループ経営の追求

グループ総合力を発揮するために、OUGホールディングスがグループ会社の戦略にまで関与し、グループへの貢献度により評価する戦略創造型グループ経営を追求する

### (4) グループ経営基盤の構築

戦略創造型グループ経営、および、事業戦略を円滑かつ実効的に機能させ、グループ全体最適の実現に必要な制度、および、仕組みを構築する

# 6. 基本戦略 (1) 近畿荷受ネットワークの構築

OUGグループが営む近畿3荷受5市場の保有する事業ノウハウや経営資源を共有し、近畿圏における荷受事業のネットワークを構築することによって、競争力の強化を図ります。

## 近畿荷受ネットワーク構想

現 状  
— 点 —



ネットワーク化  
— 面(ヨコの連携) —

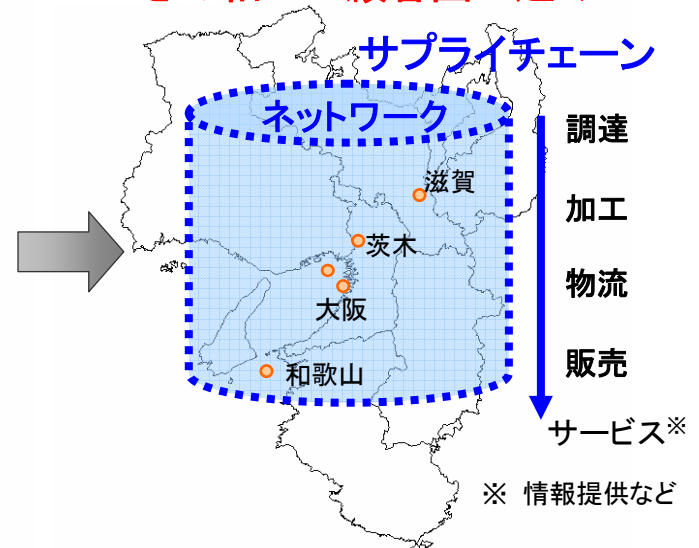
大きな網でとらえる



- 販売力強化(=セリングパワー)
- 集荷力強化(=バイイングパワー)
- 業務効率化

サプライチェーン化  
— 立体(タテ×ヨコの連携) —

きめ細かい顧客囲い込み



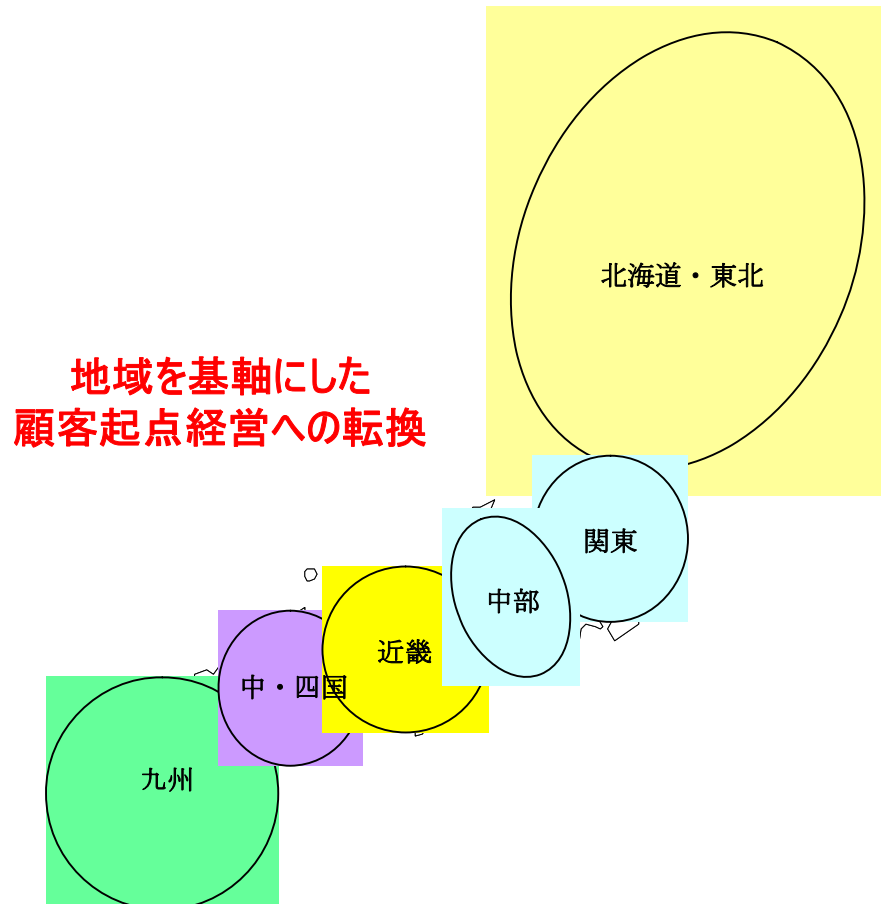
- 鮮魚を中心とした最終需要者向け販売強化
- 潜在顧客開拓・圏外販売強化
- 漁連等生産者との連携強化

## 6. 基本戦略（2）地域を基軸とした市場外事業の再編・強化

OUG Group

市場外事業の競争力強化を目的として、地域を基軸とした顧客起点経営への転換を図ります。

### 6地域区分を軸にした再編・強化



### 地域別再編のメリットと期待効果

#### 地域別再編のメリット

- 地域特性に応じた意思決定が迅速にできる。
- 地域別の業績が明確になり、評価しやすい。
- 事業構造変化への対応が容易である。

#### 期待効果

- 地域ごとの食生活、嗜好にあわせて、調達・販売する食材、提案するメニューを変えることができ、**顧客の立場にたった食にまつわるソリューションの提供**ができる。
- 物流拠点を消費地の近くに持つことにより、物流時間を短縮でき、**スピーディー**に商品提供、日持ちのしない商品も**安全・安心**に出荷できる。
- 物流拠点を消費地の近くに持つことにより、小ロットの物流が可能で、在庫を多量に抱えずに、顧客に**安定的**に商品を提供できる。

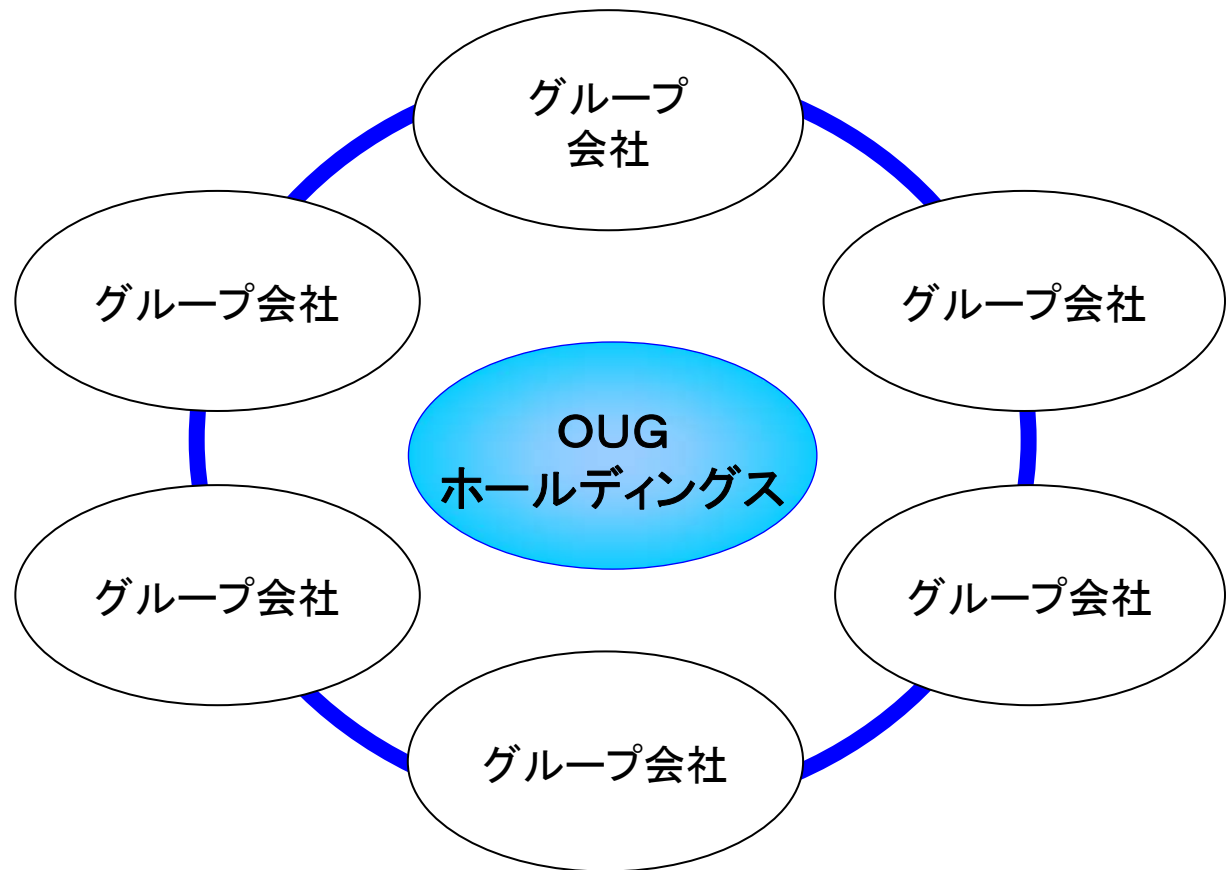
## 6. 基本戦略（3）戦略創造型グループ経営の追求

グループ総合力を発揮するために、戦略創造型グループ経営を追求します。

### 「総力結集」

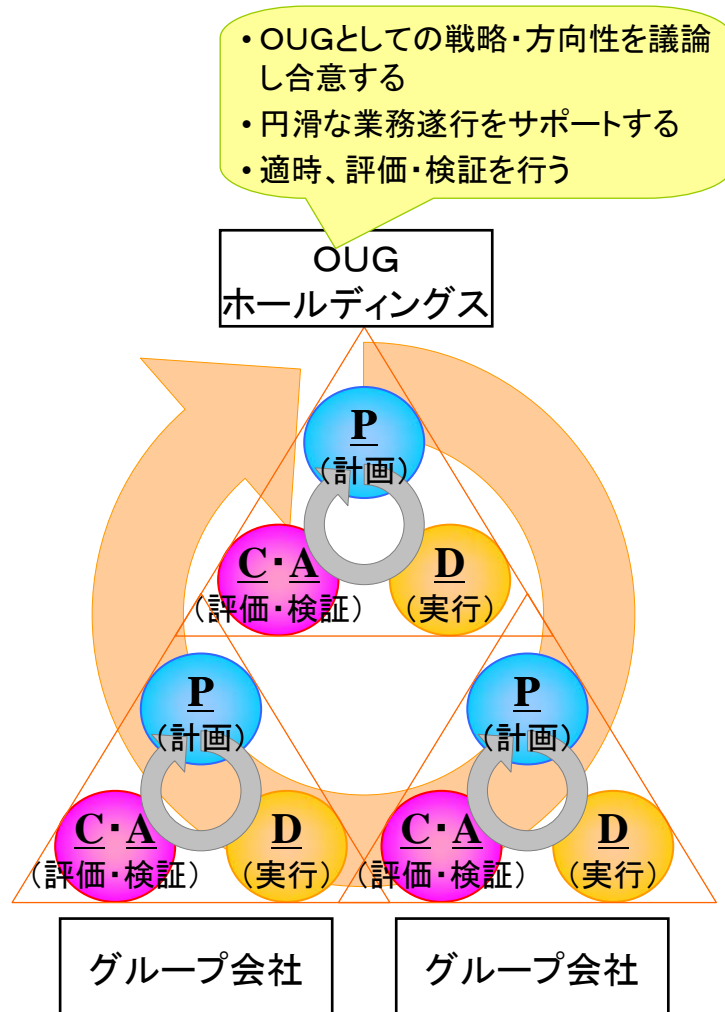
事業面でのグループ会社  
相互の貢献を重視

グループ総合力の発揮・  
全体最適を志向



## 6. 基本戦略 (4)グループ経営基盤の構築

戦略創造型グループ経営を実現するためのグループ経営基盤を構築します。



### 組織構造

- ・ OUGの「全体最適」を実現するため、グループ組織体制の再構築
- ・ グループ会社の業務遂行のサポートを効率的に行うため、事務管理・専門機能の集約化としてのシェアードサービス機能の検討

### グループ経営基盤

- ・ 「議論」「評価」できるグループ経営人財を育成する、グループ人事制度の構築
- ・ 資金効率を高めるためのグループ財務管理制度の構築(金融の一元化)
- ・ グループ経営を支える基盤としての、情報システムの整備
- ・ 「議論」「評価」する材料としての、情報共有の仕組みの構築
- ・ 適切に「評価・検証」する「ものさし」としての、グループ管理会計制度の構築
- ・ グループのリスクを適切に管理する内部統制システムの整備

## 7. 事業戦略(1) 荷受事業戦略(中期計画)

近畿荷受ネットワークの構築による市場間連携を強化します。

### 販売

- 顧客起点の営業展開を推進
- 市場間の連携強化による販売力の強化

### 商品 仕入

- 産地の掘り起こしによるこだわり商品の発掘および集荷機能の強化
- 産地のハブ化による集荷機能の強化・ブランド化

### 加工

- グループ内鮮魚加工機能との連携

### 物流

- 近畿荷受ネットワーク構築により物流を効率化

## 7. 事業戦略(2) 市場外事業戦略(中期計画)

地域を基軸とした市場外事業の再編・強化により、  
グループの成長エンジンとしての役割を果たします。

### 販売

- 顧客起点の営業展開を推進
- 最終消費者への販売を積極的に展開

### 商品

- 「戦略商品」「ブランド商品」の育成
- 鮮魚・塩干の流通の強化・拡大
- 「提案力アップ」「顧客満足度向上」によるリテールサポート意識の向上

### 仕入

- 集約化による利益率の向上
- グループ内商流増加による仕入力強化

### 加工

- グループ内加工流通システムの構築
- 情報の一元管理による加工機能の強化およびネットワーク化推進

### 物流

- 鮮魚物流システムの構築
- Webによる受発注システムの構築

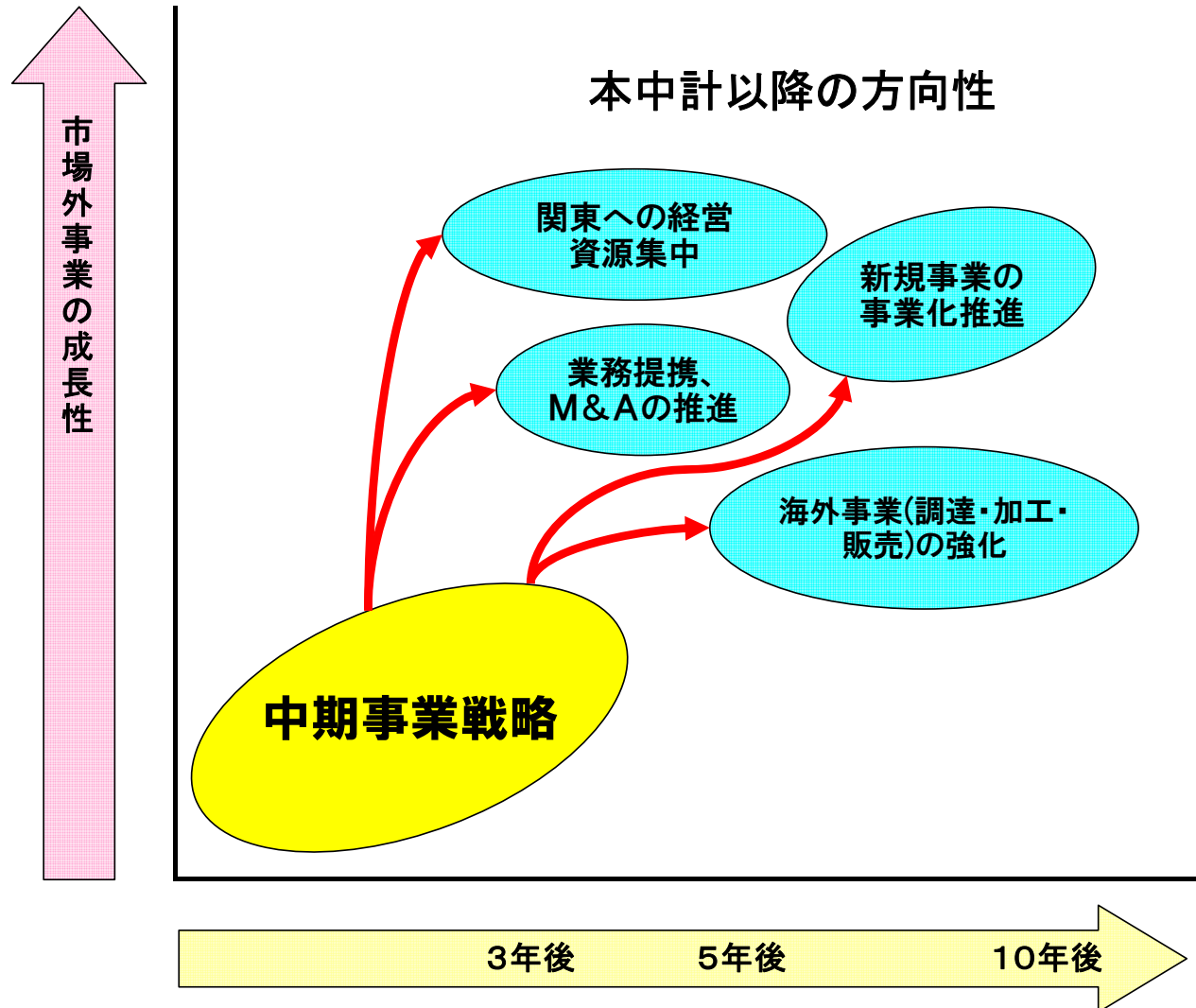


## 7. 事業戦略(2) 市場外事業戦略(本中計以降の方向性)

OUG Group

### 本中計以降の方向性

- 関東を情報収集拠点とし、効率的かつ効果的な営業システムの構築
- 全国統括機能を整備・集約化して強化・一元管理
- 水産物流通サービス業として足りない機能を補完するために業務提携・M&Aを推進
- 成長性の高い新規事業の開発・育成
- 海外での調達・加工・販売の強化



## 7. 事業戦略(3) その他の事業戦略

その他の事業は荷受事業、市場外事業を補完します。

### 加工事業

関西国際空港近くに位置する鮮魚の消費地加工場「OUG加工センター」を拠点に、近畿地区の量販店や外食産業向けに水産物の加工事業を積極的に展開、OUGの加工機能を担います。

### 養殖事業

九州近海漁場で「ぶり」を養殖しています。漁場から出荷まで一貫してHACCPを取得し安全・安心にこだわった鮮魚を国内のみならず、海外への輸出も積極的に展開しています。

### 物流事業

大阪港にある舞洲の「食品流通センター」を拠点に、常温、冷蔵、冷凍の水産物および水産加工品を量販店向けに仕分けし配送を行う物流事業を展開。OUGグループにおける戦略的物流機能を担います。

### 外食・リース事業

福岡を中心に外食事業を展開しております。  
保険代理業・リース業はOUGのグループ会社を中心に展開しております。

## 8. グループ経営基盤の構築

4つの戦略によりグループ経営基盤を構築します。

### (1) 人事戦略

- グループ人事機能整備方針の策定
- 人財育成および最適人財配置

### (2) 財務戦略

- 資金調達・管理の効率化
- 最適な資金運用

### (3) 情報システム戦略

- グループ全体での情報共有の仕組みづくり
- グループとしてのIT基盤整備

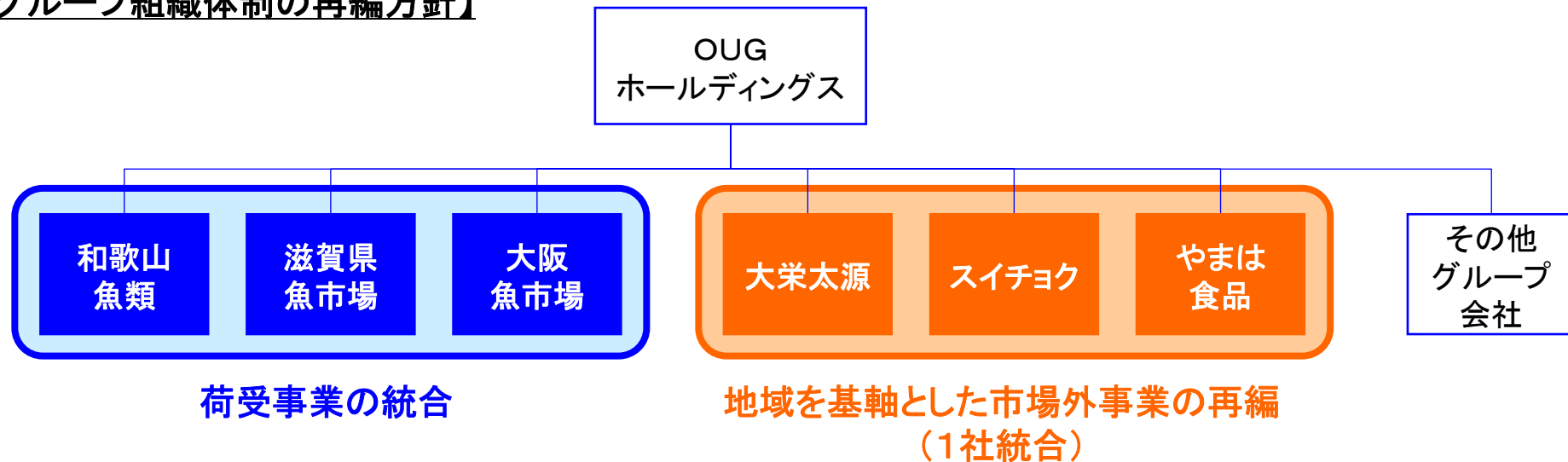
### (4) 経営管理体制の強化

- グループ経営管理制度の構築
- 内部統制システムの整備

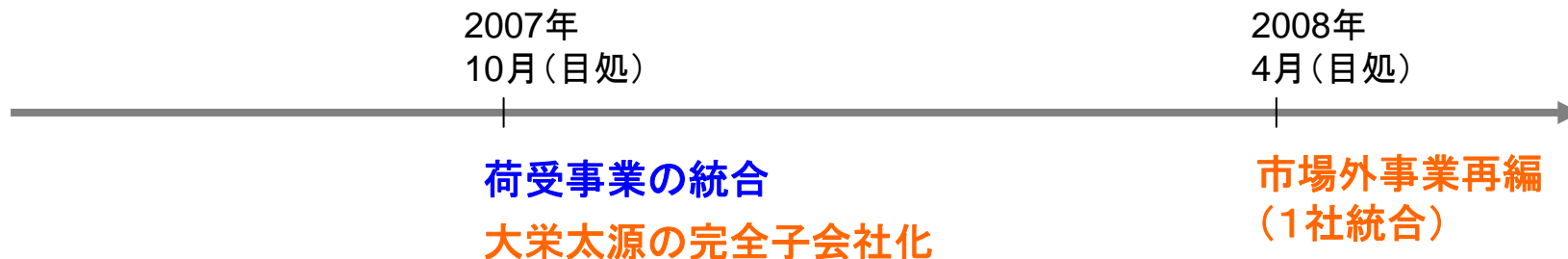
# 9. グループ再編方針

グループ再編の方針は次のとおりです。

## 【グループ組織体制の再編方針】



## 【グループ再編スケジュール】





### 注意事項

本資料で記載されている業績予想ならびに将来予想は現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。